

松江総合医療専門学校 学校関係者評価委員会

1. 日 時：令和4年6月28日（火） 10：30～12：10
2. 出席者：【委員】 米田 ときこ、上田 正樹、小林 央、多久和 宣久、
福井 英樹、田中 和喜

【学校】 理事、学校長、副学校長/作業療法学科学科長、
理学療法学科学術長、看護学科学科長、総務課長、
教務課長補佐、経理

3. 次 第： ①開会
②学校長 挨拶
③学校関係者評価委員紹介
④学校概要
⑤事業報告
⑥自己評価
⑦質疑応答
⑧閉会

次第に沿って進行し、課題等について、意見交換、質疑応答を行った。

■学校関係者評価委員からの意見

【A委員より】

- ・看護学科の現2学年は73名入学と定員を超えているが適切な教員数は確保できているのか。
→教員は定数揃っており、教室の数や面積等についても全く問題はない。
- ・オンライン講義の学生満足度はどうか。
→学生満足度調査では、オンライン講義については約8割の学生が満足している。残りの2割は、音声聞こえにくい、映像や文字が見えづらいといった点に不満を持っている。現在、そのような点を改善できるように努めている。
- ・就職活動の際にボランティア等の社会的活動歴は重要である。在校生の社会的活動等を把握するためにしていることはあるか。
→把握し学生ごとに記録している。また、就職に有益なプラスアルファの資格取得を支援している。（福祉住環境コーディネーター、障がい者スポーツ指導員、認知症サポーター、あいサポーター等）

【B委員より】

なごやか寄り合い等で学生と触れ合う事ができることを地元住民は楽しみにしている。ここ2年はコロナ禍でなごやか寄り合いや行事が中止となり、学生との交流も途絶えていたが、今年度から再び交流を深めていきたい。

また、大野地区は人口1300人を切っており、高齢化率が約46%にのぼっている。近隣に特養もありデイサービス等を利用している方もあるが、要支援・要介護に該当しない方で体力づくりをしたいという方を対象に、何か学校と地域でタイアップできないか、お力添えをいただきたい。

→I県にある専門学校がデイサービスを実施している。今後、本校も同様の取り組みを進めていきたい。学生にとっては実習にもなるし、本校としても大きな特色となる。

【C委員より】

- ・米子方面からのスクールバスを運行してはどうか。
- ・今後18歳以下の人口が減少していく中で、社会人の獲得は重要。自分は仕事で採用面接をする機会が多いが、やりたい職種は特にないが地域貢献したいという若者が非常に多い。そうした若者を取り込むためにホームページ等を活用してはどうか。

【D委員より】

学生支援が充実していることに驚いている。働き出してからどういう姿があるのか学生に示すことは職能団体として重要な役割と感じている。日本作業療法士協会も、卒後の研修体制だけでなく、卒前から一体化した形態にしていくべきだと言っているので、今後一層養成校と職能団体が連携していくことは必要であると感じている。

B委員の話でも出た地域と学校のタイアップの件について、県内の各地域が様々な取り組みをしているが、養成校と一体化したものは注目されると思う。学生も達成感を得られるし、地域の方も胸を張って参画できると思うので、発信する場所を多角的に広げていくことも一つの取り組みであると思う。

作業療法の認知について啓発活動や学生の学会への参加等、県士会の活動として今後も展開していきたい。

【E委員より】

現場にいと分らないが、学校運営の大変さが分かった。現場としては、実習生受け入れの人数制限もあつたりして申し訳ないが、できるだけ協力したいと思う。

地域貢献という話が出たが、松江市でPT・OT・STの出前講座を行っており、そうしたことに学生さんに協力してもらい、そうした場で、病院実習では見られない姿も見てもらえたらいいと思う。

この学校はこれがあるというアピールをもっとされたらいいと思う。

【F委員より】

なごやか寄り合い事業は、かなり広い範囲で行われている。社協と連携をとり、学

生の地元のなごやか寄り合いに参画すれば、地元の方との交流が深まり良いのでは。

また、例えば身体障がいのある方、目や耳の不自由な方が登山するイベント等に学生が参加すると、体の不自由な方たちにどのように対応したらいいか参考になるし、学校の特色にもなるのではないか。

今、多様化が進み、様々な人権を認めている社会で、触ることや言葉の面で気を付けるべきことがたくさんある。実際に接することで身に付けられることがあるので、社協にアプローチして、色んな方と接する機会を設けるために、イベント情報等を取引して学生に提供していくことがコンプライアンスを上げる一つになるのではないか。

以上

【外部委員】

米田 ときこ	松江市議会議員・保健師・看護師
上田 正樹	松江市立病院リハビリテーション部 技師長
小林 央	一般社団法人 島根県作業療法士会 会長
多久和 宣久	松江市大野地区社会福祉協議会 会長
福井 英樹	S Cアドクロス株式会社 代表取締役社長
田中 和喜	島根大学医学部附属病院 理学療法士

【内部委員】

安藤 瑞也	理事
松浦 昌代	学校長
片山 優子	副学校長/学科長（作業療法学科）
内田 武	学術長（理学療法学科）
石倉 清乃	学科長（看護学科）
藤原 ゆき絵	総務課長
野津 慶子	教務課長補佐
松本 泰洋	経理